



# 病棟が閉鎖にならないよう 医師確保に全力を



新井市議は、市立病院問題、丸広移転問題、山間地振興などについて質問しました。

新井 自治医大からの医師派遣が今年度末で終了となると、3月末までに、医師確保ができなければ、病棟閉鎖も心配される。医師の処遇改善も含めて対応していく必要がある。また、埼玉医大には、もちろんお願いするとともに、公募、それか

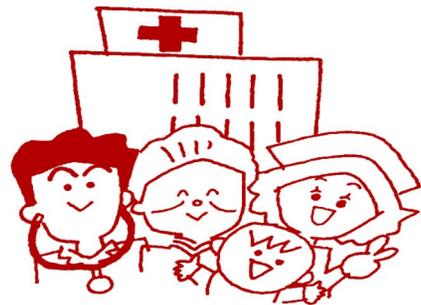
## 新井たくみ市議の一般質問

これまで付き合っていた病院、医師、あらゆるつながり、市、市民・地域住民総掛かりで医師確保にあたる必要があるのではないか。医師確保にしても、指定管理者の折衝にしても、市長が自ら強力に働きかけなければ実現できないのではないか。

福祉部調整監 県からの医師派遣がなくなるので、埼玉医大に強くお願いし、前向きな回答を頂いている。医師確保については、公募も引き続き行うとともに、勤務する医師等のネットワークや人づてに情報をいただくことが影響が大きい。

市長 相手があることで、なかなか希望どおりにいっていないのが現実。私も一生懸命やっけていきたい。

早期に地元説明会を  
新井 7月28日の吾



野、東吾野の自治会長との懇談会で、一定の時期に経過を報告すると約束した。計画を作成する前に住民説明会を行うべきではないか。

# 景気悪化から暮らしと 営業を守る積極的支援策を



金子 原油高騰や株価の暴落、消費不況と市民生活は大変だ。何とか年の瀬を乗り切つてほしいと市が実施した「緊急融資」を、新年度は預託金も増額して継続すべきと思うが。

市民生活部長 貸し付け限度額1000万円

プランを示したい。その後、住民には説明する機会をもちたい。

## 「足の確保」の課題は 横断的なプロジェクトで

新井 マスタープラン策定にあたっては住民の「足の確保」について、「各地区の会議で、住民の足に対する御意見が多く出されたので、将来に向けての課題として位置づける

案として掲載した」としている。地域福祉懇談会でも、「足の確保」についても多かった。これまでも、何度も実態調査をして同様の結果だったわけだから、来年度に各部横断的なプロジェクトチームでデマンド交通システムなどの事例を研究し、具体化してもらいたい。

## 金子とくみ市議の一般質問

を1250万円に引き上げ、利率1・75%を1・5%に引き下げ、審査会を廃止し迅速に対応することとした。期間は11月～来年3月までの5ヶ月間の緊急措置としたが、11月だけで10件の申し込みがあり好評である。新年度については状況をみて検討していきたい。

返済期間の延長を  
金子 特別小口融資の



単価をたたかれ苦しい状況だ。返済期間を延長して、一回あたりの返済額を減額できたらありがたいが。

## 住宅リフォーム助成 制度の創設で仕事確保を

金子 次に市内業者の仕事確保の問題として、リフォーム需要を喚起するために、これまで何度も提案してきた「住宅リフォーム助成制度」をたちあげてほしい。県内22自治体で実施して、工事費にかかる消費税5%分(10万円が上限)を助成するもの。その経済波及効果は実証済みである。こういう時こそ必要な制度だ。

市民生活部長 この制度については、研究・検討させていただきた



い。しかし、「飯能市勤労者住宅資金の貸付」について、現在1000万円の上限を1500万円へと検討しているところ。さらに300万円までの「住宅リフォーム」のための融資も実施してゆきたいと考えている。

金子市議は、「住宅リフォーム」のための融資を立ち上げることが、はたに結構だが、「住宅リフォーム助成制度」とセットで動けば大きな効果が得られると力説しました。

## 文化欄



●白菜のねぢり鉢巻登校児  
●人気の基政官財に媚びぬ党

佐藤志づえ